

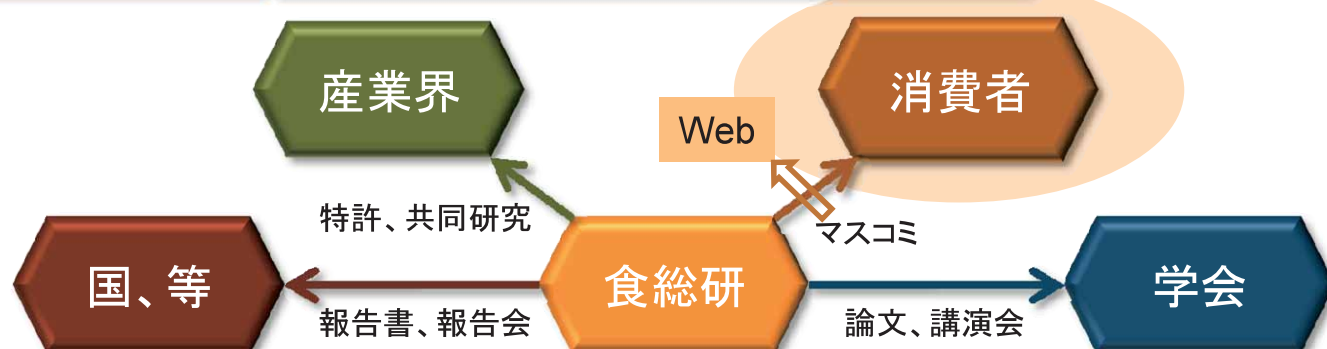
食総研の研究成果をわかりやすく発信する —専門家でない人にも役に立つ情報発信方法の研究—

技術の特徴

いつでもどこでも誰でも、臨場感、参加型

研究の背景

消費者へ向けた情報発信の重要性



実施状況

一方的発信⇒臨場感、参加型⇒利用者の理解



今後の展開

サイト訪問者の気持ちの理解

例.
ウェブアンケートによって、訪問者の目的・要望を把握



【参考文献】

- 曲山幸生、他「アクセス解析から推定した食品害虫の注目度と浸透度」、農業情報研究、Vol.19, pp.1-9, (2010)
- 曲山幸生、他「食品ナノテクノロジープロジェクトのウェブサイトの開設」、食品総合研究所研究報告、No.75, pp.25-32, (2011)
- 曲山幸生、他「ウェブアンケートによる食品害虫サイトの利用状況調査」、食品総合研究所研究報告、No.75, pp.55-61, (2011)



農研機構
食品総合研究所



代表研究者： 曲山幸生
所 属： 食品工学研究領域 上席研究員
問合わせ先： 029-838-8054 maga@affrc.go.jp